

令和4年9月吉日

関連企業等 各位

日本ウマ科学会

第35回日本ウマ科学会学術集会
ご協賛依頼文書の送付について

拝啓

処暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から当学会の運営に際して格別のご高配を賜り、昨年日本ウマ科学会学術集会においても多数の企業にご協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、過去の学術集会にも多くの参加者にお越し頂き、予期した以上の成果を得て、盛会裡に終えることができました。

さて、「第35回日本ウマ科学会学術集会」は、本年11月28日（月）と11月29日（火）の両日、国際ファッションセンター（KFC Hall & Rooms：東京都墨田区横網1-6-1）において開催されます。この間、初日（11月28日）は、「第64回日本中央競馬会（JRA）競走馬に関する調査研究発表会」との併行開催を予定しております。

つきましては、ウマ産業に関わる各種の企業および業者各位におかれましては、当学会の開催趣旨および目的をご理解のうえ、是非、当学会開催へのご協賛を賜りたく、ここに「趣意書」、「ご協賛のお願い」および「協賛申込書」を添えて、ご案内させていただきますので、よろしくご高配のほど、お願い申し上げます。

敬具

協賛申込書送付先

〒158-0086 東京都世田谷区尾山台3-10-9 アームズ株式会社内
日本ウマ科学会学術集会 企業協賛事務局 宛

協賛に関する問い合わせ先

（誠に恐れ入りますが、メールまたはFAXでお願い致します）

電話・FAX： 03-6324-6781

e-mail： info@ahrms.jp

※日本ウマ科学会事務局では回答できかねますので、企業協賛については、企業協賛事務局にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

第 35 回日本ウマ科学会学術集会

趣 意 書

日本ウマ科学会

令和 4 年 (2022 年) 9 月 1 日

令和4年9月吉日

第35回日本ウマ科学会学術集会
ご協賛のお願い

日本ウマ科学会
会長 青木 修

拝啓

秋晴の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
また、日本ウマ科学会の活動運営に際しましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学会では別記概要のとおり第35回日本ウマ科学会学術集会を3年ぶりに対面式開催する予定ですが、その初日、11月28日にはJRA競走馬に関する調査研究発表会も同会場にて併行開催されます。また、学術集会の特別講演は、2023年度より競走馬の薬物規制制度が大きく変更されることに伴い、薬物動態やドーピングの権威でありますロンドン王立獣医大学 Pierre Louis Toutain教授にお越しいただき「薬物とドーピングコントロール：ラボ研究者のために処方獣医師が知るべきこととするべきこと」という演題で講演いただく予定です。

さらに、特別講演に引き続き、ロンドンからの海外招待講師の意見を交えながら「競走馬と競技馬におけるドーピングと薬物管理」と題して目まぐるしく変わるドーピングについてシンポジウムを実施する予定です。

さらにこれら本来の学術集会の成果に加え、(1)馬の臨床に携わる獣医師をはじめ様々な分野の組織・人との連携強化、(2)馬の臨床において解決すべき課題の整理・意見の交換などの上積み効果を期待しつつ、(3)多数の獣医関連企業からの最新技術や製品のご展示により、動物用医薬品や動物用医療機器、生産資材、書籍などの最新情報提供の場も設営して、幅広い情報発信の機会とすべくこの学術集会の全体像をイメージして、種々立案企画しているところです。

つきましては、日本ウマ科学会および当学術集会の目的・趣旨をご理解の上、企業展示へのご参加およびご協賛について、特段のご高配を賜りたく、ここにお願ひ申し上げます。

なお、ご協賛金については、学術集会の運営に関わる経費ならびに学会活動費用に限定して使用いたしますことを申し添えます。

敬具

I 学術集会開催の趣旨

日本ウマ科学会は、ウマの改良増殖および馬事産業の振興ならびに馬事文化の伝承に資するため、馬に関する研究の推進と、それらの成果を社会に還元することを目的として、1990年3月31日に設立され、それ以降、目的実現のために各種の事業展開を行い、今では正会員数893名、賛助会員数20社

(2022年7月31日現在)を数えるまでに至っております。その事業の一環として、毎年11月末から12月初旬の2日間、学術集会を開催し、ウマを対象とした研究者や獣医師、さらにはウマの生産者や管理者あるいは乗馬愛好家などの実務者を含めて総勢400名を超える関係者が一堂に会し、ウマの獣医学や畜産学に限らず、ウマに関する人文科学や芸術などの幅広い分野の話題を募り、相互に情報を発信するとともに意見を交換し、現場のニーズに対応した学術や技術の向上と普及を推進しております。

本年は下記の概要にて「第35回日本ウマ科学会学術集会」の開催を予定しています。また、当学術集会の初日には、同会場において日本中央競馬会（JRA）の第61回競走馬に関する調査研究発表会も併行開催され、今年も多くの関係者の参加が見込まれています。

II 開催概要

1. 学術集会の名称

第35回日本ウマ科学会学術集会

2. 開催期日

令和4年（2022年）11月28日（月）および29日（火）

3. 開催場所

国際ファッションセンター（KFC Hall & Rooms）

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-6-1 (03-5610-5801)

※企業展示会場は、メイン会場と同じ3階フロアです。

なお、プラチナ・スポンサーはメイン会場（KFCホール）の学会受付付近にて展示を行うことができます。

また、ランチョンセミナーは、お弁当をメイン会場であるKFCホール内で提供できるため、多くの参加者が見込まれ、より効果的な情報提供が可能になります（2社限定）

4. 主催

日本ウマ科学会

5. 主なプログラム

11月28日（月） 一般講演・ランチョンセミナー・企業展示

11月29日（火） シンポジウム・一般講演・優秀発表賞候補講演・学会賞および奨励賞受賞講演・臨床関係外国人招待講演・ランチョンセミナー・定時総会・企業展示

【2022年学会賞受賞講演】

（KFC Hall：11月29日（火） 10：30－11：00）

座長：平賀 敦（日本ウマ科学会常任理事）

テーマ：軽種馬の生産育成技術の向上に関する研究

講演者：佐藤文夫（日本装蹄協会）

【2022年奨励賞受賞講演】

(KFC Hall : 11月29日(火) 10:00-10:30)

座長：平賀 敦 (日本ウマ科学会常任理事)

テーマ：サラブレッド平地・障害競走における落馬の発生疫学に関する研究

講演者：溝部文彬 (JRA 馬事部)

【シンポジウム】

(KFC Hall : 11月29日(火) 15:20-17:00)

座長：石川裕博 (JRA 馬事部) ・黒田泰輔 (JRA 総研)

アドバイザー：Pierre Louis Toutain 教授 (ロンドン王立獣医大学)

テーマ：競走馬と競技馬におけるドーピングと薬物管理

1. 競走馬におけるフルニキシンの薬物管理

モンテカルロシミュレーションを用いた検出期間の予測

黒田泰輔 (JRA 総研)

2. 日本中央競馬会 (JRA) における 2023 年からの新たな薬物規制制度について

溝部文彬 (JRA 馬事部)

3. 競走馬理化学研究所における最新の薬物検査体制及び国際的な評価

河津知樹 (競走馬理化学研究所)

4. 競走馬及び馬術競技の公正性の維持に資する競走馬理化学研究所の研究

石井英昭 (競走馬理化学研究所)

5. 馬術競技における治療とドーピングコントロール

天谷友彦 (日本馬術連盟)

【臨床委員会 招待講演】

(KFC Hall : 11月29日(火) 13:00-15:00)

座長：未定

テーマ：薬物とドーピングコントロール：

ラボ研究者のために処方獣医師が知るべきこととするべきこと

Pierre Louis Toutain 教授 (ロンドン王立獣医大学)

6. 企業展示会

動物用医薬品、動物用医療機器、生産資材、および書籍等の展示

展示会社は、医薬品医療機器等法および関係法規の規定に則ることとします。

※展示会場は、メイン会場である KFC ホールと同じ3階に準備できます。

エスカレーターをはさんで反対側ですので、動線は非常に良好です。

7. その他

会期中は展示会場にて、昼食用軽食およびソフトドリンクのサービスを行う。

また、ランチョンセミナーではメイン会場である KFC ホール内でお弁当を配布し、セミナーを行う企業の情報提供を支援致します。

【参考】 日本ウマ科学会の役員構成

(2022年8月1日現在)

会長	青木 修		
副会長	田谷一善		
	笠嶋快周		
常任理事	山中隆史	庶務担当	
	半澤 恵	会計担当	
	楠瀬 良	編集担当	
	近藤高志	学術担当	
	桑原正貴	国際担当	
	平賀 敦	広報担当	
	佐々木直樹	臨床担当	
理事	間 弘子	天谷友彦	
	上田 毅	河合正人	
	川嶋 舟	側原 仁	
	伊藤 幹	近藤誠司	
	遊佐繁基		
監事	生野 等		
	末崎真澄		
事務局長	小野圭一		

Ⅲ 協賛企業等（スポンサー）の特典

ご協賛金のお申し込みをいただくスポンサーのタイプには、「プラチナ」「ゴールド」、「シルバー」、「コッパー」および「ブロンズ」の5種類を用意しております。

また、メイン会場である KFC ホール内でお弁当を提供しながら、情報提供できるランチョンセミナーも2社様（各日1社）にご提供できます。

1. **プラチナ・スポンサー**（協賛金：80万円＋消費税）先着企業2社様まで
 - 1) 3階のメイン会場である KFC ホール横の展示会場に、企業展示ブース（2ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは2ブース分で横幅×底面が 3.6m×1.8m（予定）です。
 - 2) プログラムのスポンサー一覧に目立つ文字で企業名等を掲載します。

2. **ゴールド・スポンサー**（協賛金：50万円＋消費税）
 - 1) 3階の展示会場に、企業展示ブース（2ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは2ブース分で横幅×底面が 3.6m×1.8m（予定）です。
 - 2) 企業展示の場所について最優先でご希望をお伺いします。
 - 3) プログラムのスポンサー一覧に目立つ文字で企業名等を掲載します。

3. **シルバー・スポンサー**（協賛金：30万円＋消費税）
 - 1) 3階の展示会場に、企業展示ブース（1ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは1ブースの横幅×底面が 1.8m×0.9m(予定)です。
 - 2) プログラムのスポンサー一覧に企業名等を掲載します。
 - 3) ※複数企業が協同で協賛し、企業展示を行う場合、連名で、シルバー・スポンサー以上でお申込み下さい。

4. **コッパー・スポンサー**（協賛金：18万円＋消費税）
 - 1) 3階の展示会場に、企業展示ブース（1/2ブース枠）を無料で提供します。展示ブースは横幅×底面が 0.9m×0.9m(予定)です。
 - 2) プログラムのスポンサー一覧に企業名等を掲載します。

5. **ブロンズ・スポンサー**（協賛金：10万円＋消費税）
 - 1) プログラムのスポンサー一覧に企業名等を掲載します。
 - 2) 企業展示ブースは用意しません。

6. **ランチョンセミナー**（各日1社様限定。協賛金：30万円＋消費税）
 - 1) ランチョンセミナーを、11月28日または11月29日に開催可能です。
 - 2) 日程の優先選択権は、プラチナ、ゴールド、シルバーのスポンサーの順です。

IV 協賛金のお申し込み要領

1. 協賛金の名称：第 35 回日本ウマ科学会学術集会協賛金
2. 申込期日：令和 4 年 10 月 22 日(金)（協賛金の納入は 11 月 18 日（金）までです）
3. 協賛金の使途：第 35 回日本ウマ科学会学術集会の運営費用ならびに学会活動費用
4. 申込方法：別紙「協賛金申込書」にご記入の上、下記の担当係まで FAX、郵送または e-mail にて申込書をお送り下さい。
5. 協賛金申込宛先およびお問い合わせ先：
〒158-0086 東京都世田谷区尾山台 3-10-9 アームズ株式会社 内
日本ウマ科学会学術集会 企業協賛事務局
FAX：03-6324-6781 e-mail：info@ahrms.jp
6. 複数企業による協同展示の際のお願い：
複数企業が協同で協賛し、企業展示を行う場合、連名で、シルバー・スポンサー以上でお申込み下さい。
7. 展示資材返送時のお願い
 - 1) 展示終了後、展示資材の返送は、事務局で請け負うことはできません。
展示資材の返送は、各社にて行って下さいますようお願い致します。

**第 35 回日本ウマ科学会学術集会
協 賛 申 込 書**

〒158-0086 東京都世田谷区尾山台 3-10-9 アームズ株式会社 内
日本ウマ科学会学術集会 企業協賛事務局 行
FAX : 03-6324-6781 e-mail : info@ahrms.jp

令和 4 年 月 日

第 35 回日本ウマ科学会学術集会への協賛を申し込みます。

会社／団体名				印
ご担当部署		ご担当者名		
所在地 (案内をお送りする場所)	〒 ー			
電話		FAX		
ご担当者様 e-mail				
備考	請求書の品名（協賛金、ブース費用）、請求書の分割、宛名などご指示があればご記入下さい。その他支払に関する特記事項お問合わせでも結構です。			

希望されるスポンサーのタイプにチェック下さい。

チェック	スポンサータイプ	
	プラチナ・スポンサー	(協賛金 80 万円+税)
	ゴールド・スポンサー	(協賛金 50 万円+税)
	シルバー・スポンサー	(協賛金 30 万円+税)
	銅・スポンサー	(協賛金 18 万円+税)
	ブロンズ・スポンサー	(協賛金 10 万円+税)
	ランチョンセミナー	(協賛金 30 万円+税)

※協賛金には、別途消費税がかかります。

本申込書にご記入捺印の上、**FAX**、郵送または **e-mail** にスキャン画像を添付のいずれかで、ご送付下さい。到着後、請求書を発行させていただきますので **11 月 19 日**までにお支払いをお願い致します。尚、恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担下さい。

※ 展示資材返送の代行を事務局では行いません。あらかじめご了承ください。
また、自社で手配される場合を除き、返送時のヤマト便のご利用は不可とします。
(展示資材返送は自社で行うことを了承する)

ご署名 _____